

## 2021年漁期のハタハタ漁獲対象資源量の予測（第1報）

2021年漁期の本県におけるハタハタ漁獲対象資源量を予測しましたのでお知らせします。

### 1. 予測方法

2020年漁期までの青森県における年齢別漁獲尾数を基にVPA(virtual population analysis)の前進法により2021年漁期の2歳魚以上の漁獲対象資源量を推定しました。

1歳魚については、毎年4月～6月（2021年は5月～6月）に試験船青鵬丸が行った本県沖合におけるオッタートロール調査で得られたハタハタ1歳魚分布密度と、VPAで求めた雌雄別1歳魚資源尾数との回帰式を用いて推定しました。

※漁期は9月～翌年8月

### 2. 結果

## 漁獲対象資源量は前年をやや下回る、主体は1、2歳魚

2021年漁期に本県で漁獲対象となるハタハタ資源量は、前年をやや下回る438トン（前年比65%）と推定されました（図1）。年齢別に見ると、1歳魚が242トン（55%）、2歳魚が174トン（40%）で資源の大部分を占めています（図2）。

ハタハタは産卵のために12月頃に接岸します。雄は1歳から成熟しますが、雌は1歳の一部と2歳以上が成熟するとされています。沿岸漁では、産卵のために接岸する群れを漁獲対象とするため、1歳魚来遊資源のうち、未成熟個体は漁獲対象となりません。

今後、試験船青鵬丸が実施する予定の漁期前分布調査と、近県の漁獲、資源情報、沿岸の水温情報をもとに精査し、初漁日の予測結果と合わせて11月末に第2報として再度お知らせいたします。

※対前年比±20%未満：並み、20%以上40%未満：やや、40%以上60%未満：かなり、60%以上：はなはだ

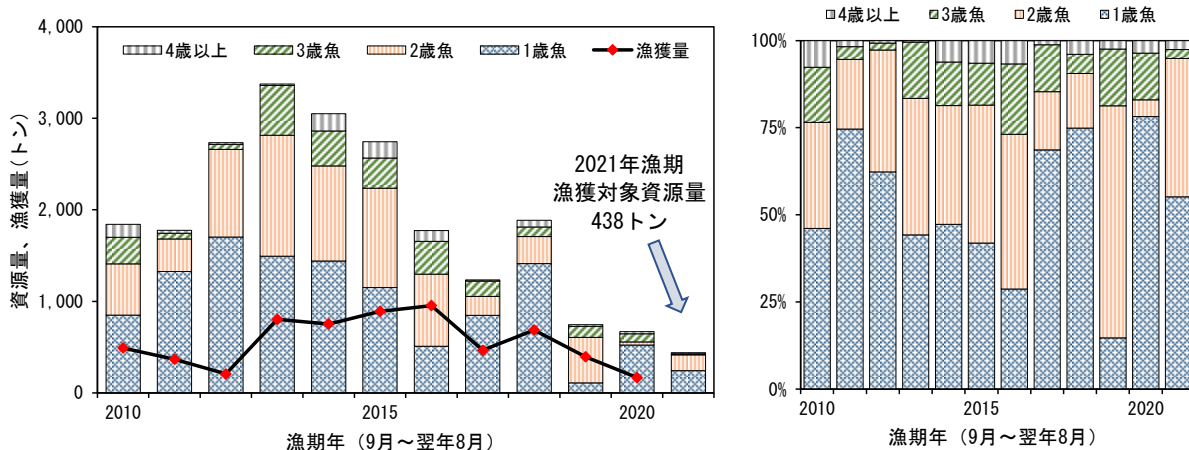


図1（左）青森県のハタハタ漁獲対象資源量（棒グラフ）と漁獲量（折線）の動向  
図2（右）青森県のハタハタ漁獲対象資源量に占める年齢別割合 ※2021年は予測結果